

所定疾患施設療養費一覧表(令和2年度)

入所者	治療開始日	区分	治療日数	傷病名	検査	治療内容	内容	診断に至った根拠	薬剤選択について
様	令和02年04月21日	II	5	急性肺炎	CRP検査(2.7)	投薬	4/21フロモックス3T3×1、2日間 4/22フロモックス中止、4/22～25「点滴」ソルデム3号500ml×1、5、セファメジン1.0g×2	4/21回診にて、KT:38.5℃、血圧:116/88、脈115、呼吸数:10回(無呼吸20秒)、左下肺音(+)。CRP検査、実施。検査結果より急性肺炎と診断。	4/21、フロモックスを処方するも改善が得られず中止。 4/22より点滴:ソルデム3号、セファメジン(抗生剤)に変更改善した。 薬剤感受性試験:なし
様	令和02年05月19日	II	7	誤嚥性肺炎	診察	投薬	5/19～21点滴「ソルデム3号500ml×1(B、C)、セファメジン1.0×2」5/22～23点滴「ソルデム3号500ml×1(B、C)、チエナム0.5mg×2」5/24点滴「ソルデム3号500ml×1、チエナム0.5mg×1」5/24点滴「ソルデム3号750ml×1、チエナム0.5mg×1」	5/18・16:20回診。昨夜からの発熱(38.2℃)・体熱感・顔面紅潮・足趾、足底チアノーゼ(+)、以前より痰がらみ(+)。誤嚥性肺炎にて医療機関入院、退院後当該へ、既往歴、5月上旬肺炎疑いあり等より、誤嚥性肺炎と診断。	本年1月より誤嚥性肺炎(+)、気胸、栄養失調、脱水症等により、入院加療を受けたが、その後もしばしば肺炎を繰り返していた。経鼻経管栄養は本人が強く拒否しており、点滴による補液、抗生剤投与を必要とした。 薬剤感受性試験:なし
様	令和02年06月09日	II	7	尿路感染症	尿検査(URO:nomal BLD:3+0.75mg/dL PRO:±15mg/dL pH:8.0 LEU:3+500c/uL S.G:1.020)	投薬	6/9クラビット(500)1T1×1、3日間 6/11継続処方クラビット(500)1T1×1、4日間	肺炎で治療中 6/9発熱(37.7℃)尿混濁強く血尿みられる。尿検査実施。検査結果を受け尿路感染症と診断。	6/9 クラビット処方、改善傾向にあり、6/11以降も継続症状が改善した。 薬剤感受性試験:なし
様	令和02年06月10日	II	7	尿路感染症	CRP検査(0.8)・尿検査(URO:nomal BLD:2+0.15mg/dL PR O:2+100mg/dL pH:6.5 LEU:3+500c/uL S.G:1.010)	投薬	6/10フロモックス3T3×1、1日間 カロナール1T1×1頓服用 6/11フロモックス3T3×1、4日間 6/15フロモックス3T3×1、3日間	脳出血、認知症終末期及び胃瘻 6/10発熱(38.2℃)回診にてCRP検査・尿検査にて血尿、白血球多数を認める。 検査結果を受け尿路感染症と診断。	6/10 フロモックスを処方、発熱時解熱用としてカロナール頓服処方。 症状に改善傾向が見られたため、6/11-6/15までフロモックスを処方し症状に改善。 薬剤感受性試験:なし
様	令和02年06月22日	II	7	尿路感染症	尿検査(URO:nomal PRO:±15mg/dL pH:6.0 LEU:3+500c/uL S.G:1.015)	投薬	6/22ホスミン(500)2T2×1 3日間 6/24投薬変更 クラビット(500)1T1×1、3日間 6/26継続処方クラビット(500)1T1×1、3日間	6/22発熱(39.5℃)尿混濁、尿臭強い尿検査実施。検査結果を受け尿路感染症と診断。	6/22 ホスミンを処方するも改善が見られず中止、6/24よりクラビットへ変更。 改善が見られたため継続処方とした。 薬剤感受性試験:なし
様	令和02年06月20日	II	7	尿路感染症	尿検査(URO:normal BLD:1+0.06mg/dL GLU:4+2000mg/dL pH:6.5 LEU:3+500c/uL S.G:1.015)	投薬	6/19 20～内服開始クラビット(500)1T1×1、3日間 6/22 23日～の分としてホスミン(250)3T3×1、3日間 6/25 26日～の分としてホスミン(250)3T3×1、2日間	6/19発熱(38.0℃)以前より尿路感染症を反復している。 尿検査実施。検査結果を受け尿路感染症と診断。	6/19 クラビットを処方するも改善が見られず、6/22よりホスミンへ変更。 改善が見られたため処方継続改善した。 薬剤感受性試験:なし
様	令和02年06月15日	II	7	尿路感染症	尿検査(URO:1+2.0mg/dL BLD:1+0.06mg/dL PRO:2+100mg/dL pH:5.5 NIT:+ LEU:3+500c/uL S.G:1.020)	投薬	6/15フロモックス3T3×1 3日間 6/18フロモックス3T3×1 4日間	6/15回診。6/10に再入所。食欲なく傾眠傾向。脱水症状あるため尿検査実施。検査結果を受け尿路感染症と診断。 尿検査の所見で白血球多数を認める。	6/15 フロモックスを処方改善が見られたため、処方継続、改善した。 薬剤感受性試験:なし
様	令和02年06月25日	II	5	尿路感染症	尿検査(URO:1+2.0mg/dL PRO:±15mg/dL pH:7.0 LEU:3+500c/uL S.G:1.010)	投薬	6/24 25日から内服開始クラビット(500)1T1×1、3日間 6/25継続処方クラビット(500)1T1×1、2日間	6/24定期回診。入所時より尿内白血球が多くその状態が続いているため尿検査実施。検査結果より尿路感染症と診断。	6/24 クラビットを処方、改善が見られたため処方継続、改善した。 薬剤感受性試験:なし
様	令和02年06月02日	II	7	誤嚥性肺炎	CRP検査(10.7)	投薬	6/2点滴「ソルデム1号、ソルデム3号、各500ml×1 セファメジン1.0g×2」6/3内服に変更 サワシリン(750)、ユナシン(375)、各3T3×1、3日間 6/5継続処方 サワシリン(750)、ユナシン(375)、各3T3×1、3日間	6/2発熱38.2℃。咳嗽あり。体熱感あり。SPO2:97%。左下肺湿性ラ音(+) 状態より誤嚥性肺炎と診断。6/3CRP検査実施。	6/2より発熱、点滴による補液、抗生剤投与を必要としたため、ソルデム1号、セファメジンを処方、効果が得られず、抗生剤をサワシリン、ユナシンへ変更継続処方し改善した。 薬剤感受性試験:なし
様	令和02年06月18日	II	5	尿路感染症	尿検査(URO:1+2.0mg/dL BLD:2+0.15mg/dL PRO:2+100mg/dL pH:6.5 NIT:+ LEU:3+500c/uL S.G:1.020)	投薬	6/18クラビット500mg1T1×1、2日間 6/19継続処方 クラビット500mg1T1×1、3日間	6/17食、尿量(-)、発熱38.7℃、尿(混濁+悪臭+)尿検査実施。沈査に白血球多数、終末期にあり一般状態不良。 尿路感染症と診断。	6/18 クラビットを処方、改善傾向が見られたため、6/19以降継続処方し症状が改善した。 薬剤感受性試験:なし
様	令和02年06月17日	II	7	尿路感染症	尿検査(URO:nomal BLD:3+0.75mg/dL PRO:1+30mg/dL pH:6.5 LEU:3+500c/uL S.G:1.010)	投薬	6/17ホスミン(500)2T2×1、2日間 6/19継続処方ホスミン(500)2T2×1、3日間 6/22継続処方ホスミン(500)2T2×1、3日間	6/16回診。排尿痛(+) 便秘(+) 時々、6/17定期回診にて尿検査実施。検査結果を受け尿路感染症と診断。	6/17 ホスミンを処方、効果が得られたため継続処方し改善した。 薬剤感受性試験:なし
様	令和02年07月06日	II	7	肺炎	CRP検査(0.10)	投薬	7/6フロモックス3k3×1 アスベリン3T3×1、ムコダイン3T3×1、ホクナリンテープ2mg1×1、各3日間 7/8(7/9～の分として)フロモックス3k3×1 アスベリン3T3×1、ムコダイン3T3×1、ホクナリンテープ2mg1×1、各3日間 7/10(7/12～の分として)フロモックス3k3×1 アスベリン3T3×1、ムコダイン3T3×1、ホクナリンテープ2mg1×1、各3日間	7/6回診。昨夜咳ひどく眠れず。右胸下部湿性ラ音(+)。CRP検査実施。検査結果・状態より肺炎と診断。	肺炎に対して効果が期待できるため、7/6 フロモックス、アスベリン、ムコダイン、ホクナリンテープを処方した。 薬剤感受性試験:なし
様	令和02年07月01日	II	7	尿路感染症	尿検査(URO:1+2.0mg/dL BLD:2+0.15mg/dL GLU:2+250mg/dL PRO:1+30mg/dL pH:5.5 LEU:3+500c/uL S.G:1.0)	投薬	7/1サワシリン(250)4T4×1、5日間 7/6サワシリン(250)4T4×1、5日間	6/27入所。入所時、状態把握のため検査実施。尿検査結果より、尿路感染症と診断。	尿路感染症の症状に対し、改善効果が得られると考えるため、7/1、サワシリン(抗生剤)を処方。 症状に改善が見られたため、7/6処方継続。 薬剤感受性試験:なし

様	令和02年07月01日	II	5	尿路感染症	尿検査(URO:1+2. 0mg/dL PRO:1+30mg/dL pH:5. 5 LEU:3+500c/uL S. G:1. 005)	投薬	7/1クラビット(500)1T1×1, 3日間 7/3(4日～の分として)クラビット(500)1T1×1, 2日間	7/1発熱(39. 3℃)肺炎等所見見られず、尿路感染症を疑い尿検査実施。検査結果を受け、尿路感染症と診断。	尿路感染症の症状に対し、改善効果が得られると考えるため、7/1クラビット(抗生剤)を処方。症状改善傾向のため、7/3同薬剤を継続処方にて経過観察。薬剤感受性試験:なし
様	令和02年07月13日	II	7	誤嚥性肺炎	CRP検査(18. 0)	投薬	7/13点滴「ソルデム3号500ml×2、セファメジン1. 0g×2」7/14点滴「ソルデム3号500ml×2、セファメジン1. 0g×2」7/15点滴「ソルデム3号500ml×2、セファメジン1. 0g×2」(7/16も同様の指示)7/17点滴「ソルデム3号500ml×2、セファメジン1. 0g×2」(7/18. 19も同様の指示)	7/13回診時、下肢浮腫(+)左肺湿性ラ音(+)黄色痰(2+)体温37. 6℃。CRP検査実施。検査結果、状態より誤嚥性肺炎と診断。	7/11以降、経口摂取進まず脱水症により、点滴による補液、抗生剤投与を必要とした。薬剤感受性試験:なし
様	令和02年07月07日	II	7	尿路感染症	尿検査(URO:normal D:2+0. 15mg/d L PRO:2+100mg/d L pH:8. 0 NIT:+ LEU:3+500c/uL S. G:1. 015)	投薬	7/7サワシリン(250)3T 3×1, 3日間 7/10サワシリン(250)3T 3×1, 4日間	7/2入所。7/3入所状態把握のため、検査実施。尿検査の結果より、尿路感染症と診断。発熱なく、水分補給にて経過観察するも改善見られず、混濁著明のため7/7抗生剤開始する。	7/7サワシリンを処方、改善が見られたため、7/10継続処方し改善した。薬剤感受性試験:なし
様	令和02年07月28日	II	7	尿路感染症	尿検査(URO:normal B LD:3+0. 75mg/d L PRO:± 15mg/dL pH:6. 0 LEU:3+500c/uL S. G:1. 010)	投薬	7/28日から フロモックス3T3×1 3日間 7/31日から継続処方 フロモックス3T3×1 3日間	トイレ誘導時ハット内、便器内に出血あり。回診にて、出血痕あり。尿か、便か不明。尿検査実施。検査結果より尿路感染症と診断。	7/28からフロモックスを処方、改善が見られたため、7/31から継続処方し改善した。薬剤感受性試験:なし
様	令和02年07月30日	II	7	急性肺炎	検査:なし 診察にて	投薬	7/30サワシリン7. 5g・ユナシン粒7. 5g、各3×1 2日間 コロナール1T1×1(発熱時屯用として) 7/31(8/1タ～の分として)サワシリン7. 5g・ユナシン粒7. 5g、各3×1 3日間 8/3(8/4～の分として)サワシリン7. 5g・ユナシン粒7. 5g、各3×1 2日間	淡黄硬め粘稠中等両量吸引あり。発熱38. 2℃。R:24. SPO2:98%。診察にて急性肺炎と診断。	肺炎に対して効果が期待できるため、7/30、サワシリン、ユナシン、改善が見られたため継続処方した。薬剤感受性試験:なし
様	令和02年08月05日	II	7	急性肺炎	CRP検査(6.6)	投薬	8/5フロモックス3T3×1 2日間(タから開始) 8/7継続処方フロモックス3T3×1 4日間	発熱(37.6)左下肺湿性ラ音(+) R:26 血圧91/58 SPO2:99% 脈:112 CRP検査実施。状態・検査結果を受け急性肺炎と診断。	肺炎に対して効果が期待できるため、8/5 フロモックスを処方し、改善が見られたため 8/7継続処方とした。薬剤感受性試験:なし
様	令和02年08月17日	II	7	尿路感染症	尿検査(URO:2+4. 0mg/dL BLD:2+50c/uL PRO:1+30mg/dL pH:7.0 LEU:3+500c/uL S. G:1. 020)	投薬	8/17フロモックス3T3×1 3日間(昼から開始) 8/19継続処方フロモックス3T3×1 3日間	8/16発熱(37.4℃)頭部クーリングにて様子観察。8/17早朝、解熱。(36.7℃)8/17回診。熱(-)嘔吐(-)尿浮遊物(+)、尿検査実施。検査結果より尿路感染症と診断。	尿路感染症の症状に対し、改善効果が得られると考えるため、8/17フロモックス(抗生剤)を処方。症状改善傾向のため、8/19同薬剤を継続処方にて経過観察。薬剤感受性試験:なし
様	令和02年09月09日	II	6	急性肺炎	CRP検査(14.4)	投薬	9/9「点滴」ソルデム1号、ソルデム3号、各500ml×1、セファメジン1. 0×2 9/10(タより)サワシリン(250)3T3×1、ユナシン(375)2T2×1、各4日間	9/9発熱37. 3℃。咳、痰(+)。CRP検査実施。検査結果より急性肺炎と診断。	9/9より発熱、重度の認知症もあり、経口摂取困難、点滴による補液施行、肺炎に対して効果が期待できるため、抗生剤(サワシリン、ユナシン)を処方し改善あり。薬剤感受性試験:なし
様	令和02年09月21日	II	7	急性肺炎	診察	投薬	9/21(タより)サワシリン(7. 5)3×1、ユナシン(375)2T2×1、3日間 9/23(継続処方)サワシリン(7. 5)3×1、ユナシン(375)2T2×1、3日間	9/21熱感、四肢冷感(+)。鼻汁、咳嗽(-)。両下肺湿性ラ音あり。呼吸数29回。状態より、急性肺炎と診断。	肺炎に対して効果が期待できるため、9/21より抗生剤(サワシリン、ユナシン)を処方し、改善が見られたため、9/23継続処方した。薬剤感受性試験:なし
様	令和02年09月23日	II	7	急性肺炎	CRP検査(0. 8)	投薬	9/23(昼～)サワシリン(7. 5)3×1、ユナシン(375)2T2×1、各3日間 9/25(継続処方)サワシリン(7. 5)3×1、ユナシン(375)2T2×1、各3日間	9/23発熱(37. 2℃)右下肺湿性ラ音(+)。CRP検査実施。検査結果を受け、急性肺炎と診断。	肺炎に対して効果が期待できるため、9/23より抗生剤(サワシリン、ユナシン)を処方し、改善が見られたため、9/25継続処方した。薬剤感受性試験:なし
様	令和02年09月11日	II	7	尿路感染症	尿検査(URO:normal B LD:3+0. 75mg/d L PRO:1+ 30mg/dL pH:5.5 LEU:3+500c/uL S. G:1. 015)CRP検査(1. 0)	投薬	9/11(昼より)ホスミン(500)3T3×1、3日間 9/14(継続処方)ホスミン(500)3T3×1、3日間	9/11発熱(39. 3℃)手足拘縮(+)肺、心雑音(-)尿混濁(3+)。尿検査、CRP検査実施。検査結果より、尿路感染症と診断。	尿路感染症の症状に対し、改善効果が得られると考えるため、9/11より抗生剤(ホスミン)を処方。症状改善傾向のため、9/14同薬剤を継続処方にて経過観察。薬剤感受性試験:なし
様	令和02年09月25日	II	7	尿路感染症	尿検査(URO:normal B LD:3+0. 75mg/d L PRO:2+100mg/d L pH:7. 5 NIT:+ LEU:3+500c/uL S. G:1. 015)	投薬	9/25(昼より)ホスミン(500)3T3×1、ムコダイン3T3×1、重曹2. 0g3×1、各4日間 9/29クラビット(500)1T1×1、3日間	9/25フォーレシしばしば詰まり、出血(+)、咳(+)、痰(+)。尿検査(培養・一般)実施。検査結果より尿路感染症と診断。	尿路感染症の症状に対し、改善効果が得られると考えるため、9/25より抗生剤(ホスミン、ムコダイン)を処方、ホスミンの効果得られず、9/29 クラビットを処方し経過観察。薬剤感受性試験:なし
様	令和02年09月29日	II	7	尿路感染症	尿検査(URO:normal B LD:3+0. 75mg/d L PRO:2+100mg/d L pH:7. 0 LEU:3+500c/uL S. G:1. 010)CRP検査(11.1)	投薬	9/28～ホスミン(500)2T2×1 タより開始 9/30クラビット(500)1T1×1 3日間 10/2(10/3・4分として)点滴「ソルデム1. 3号500ml×1 セファメジン1. 0×2」10/5点滴「ソルデム3号 500ml×2 セファメジン1. 0×2」	9/28タより発熱(41.1℃)口唇色、爪甲色不良、顔色不良、全身震えあり、四肢冷感著明、意識レベル低下なし。9/29朝、肺ラ音(-)。尿一般、CRP検査実施。検査結果を受け尿路感染症と診断。	尿路感染症の症状に対し、改善効果が得られると考えるため、9/30より抗生剤(クラビット)を処方し経過観察とした。一般状態不良、経口摂取不十分のため、ソルデム1号、3号 各500ml×1、セファメジン1.0gを処方し、経過観察。薬剤感受性試験:なし

様	令和02年10月13日	II	5	誤嚥性肺炎	診察	投薬	10/13フロモックス3T3×1 2日間 屯用カロナール1T又はアンピバ(200)ヶ 10/153フロモックス3T3×1 3日間	10/13 0:00発熱39.2℃。屯用カロナール処方様子観察。9:25 回診。咳嗽頻回、顔面紅潮(+)呼吸やや速迫。昨夜ベースト食を誤嚥。R:26 BD:149/79 P:83.状態より誤嚥性肺炎と診断。	肺炎に対して効果が期待できるため、10/13、フロモックスを処方、屯用分としてカロナール、アンピバを処方し、改善が見られたため10/15、フロモックスを継続処方とした。薬剤感受性試験：なし
様	令和02年10月14日	II	7	誤嚥性肺炎	診察	投薬	10/14フロモックス3T3×1 7日間(夕から開始)	10/14 9:00発熱38.2℃。傾眠傾向(+)湿性咳嗽(+)吸引にて粘稠引ける。右下肺軽い湿性ラ音(+) SPO2:85% R:16 状態より誤嚥性肺炎と診断。	肺炎に対して効果が期待できるため、10/14、フロモックスを処方し改善が見られた。薬剤感受性試験：なし
様	令和02年10月06日	II	5	尿路感染症	尿検査(URO:normal P RO:± 15mg/dL pH:5.0 NIT:+ LEU:3 +500c/uL S.G:1.0 10)	投薬	10/6ホスミシン(500)3T3×1 2日間(夕より開始) 10/8継続処方ホスミシン(500)3T3×1 4日間(10/10昼より服薬出来ず)	10/5新規入所。入所時検査にて尿検査等実施。検査結果より尿路感染症と診断。	尿路感染症の症状に対し、改善効果が得られると考えるため、10/6より抗生剤(ホスミシン)を処方。症状改善傾向のため、10/8、同薬剤を継続処方にて経過観察。薬剤感受性試験：なし
様	令和02年10月30日	II	7	急性肺炎	CRP検査(1.75)	投薬	10/30クラビット(500)1T1×1 4日間 11/2と11/3点滴セファメジン1.0×2 11/4フロモックス3T3×1 2日間 11/5変更サワシリン(250)6T3×1、ユナシン(375)3T3×1、各2日間	10/30発熱(38.5℃)悪寒なし。腹部不快なし。湿性咳嗽あり。右肺雑音(+)CRP検査実施。検査結果より急性肺炎と診断。	肺炎に対して効果が期待できるため、10/30より抗生剤(クラビット)を処方するも効果がみられず脱水症が見られたため、11/2より点滴補液とセファメジンへ変更。効果不十分のため、11/4より抗生剤変更(フロモックス)、11/5、抗生剤(サワシリン、ユナシン)にて経口投与へ変更し経過観察。薬剤感受性試験：なし
様	令和02年11月06日	II	7	肺炎	CRP検査(5.60)・診察	投薬	11/6~8点滴:ソルデム3号750ml、セファメジン1.0g×2 11/9点滴:ソルデム3号500ml、セファメジン1.0g×1 11/10点滴:ソルデム3号500ml、セファメジン1.0g×1 11/11~12点滴:ソルデム3号500ml、セファメジン1.0g×1	11月始めより痰がらみ、発熱あり。11/2CRP検査。抗生剤等処方の上様子観察。11/5回診にて咳(+)SPO2:80% R:24 BD:91/46 状態より肺炎と診断。11/6より抗生剤投薬開始。	経口摂取困難のため、11/6~11/10、点滴にて補液、抗生剤を投与 薬剤感受性試験：なし
様	令和02年11月14日	II	7	急性肺炎	診察	投薬	11/14点滴::ソルデム3号750ml本、セファメジン1.0g×1 11/15点滴::ソルデム3号750ml本、セファメジン1.0g×1 11/16点滴::ソルデム3号750ml、セファメジン1.0g×2 11/17点滴::ソルデム3号750ml、セファメジン1.0g×2 11/18点滴中止 フロモックス3T3×1 3日間 11/20継続処方フロモックス3T3×1 4日間	1/14回診にて、湿性咳嗽(+)活気なし・体温37.6℃・呼吸数30回・SPO2:93%・胸部湿性ラ音ありにて急性肺炎と診断。	経口摂取量減少のため、11/14より点滴にて補液、肺炎に対して効果を期待し、抗生剤(セファメジン)を処方し、改善が見られたため11/16~11/17まで継続。食事摂取可能な状態となったため、点滴を中止し抗生剤をフロモックスへ変更、経口より内服へ変更した。薬剤感受性試験：なし
様	令和02年11月26日	II	7	急性肺炎	CRP検査(11.58)	投薬	11/26フロモックス3T3×1、アスヘリン3T3×1、ホクナリンテープ2mg1×1、各4日間 11/30フロモックス4T4×1、アスヘリン4T4×1、ムコダイン4T4×1、ホクナリンテープ2mg1×1、各3日間 12/2処方変更 サワシリン7.5g3×1、ユナシン3T3×1、ホクナリンテープ2mg1×1、アスヘリン3T3×1、ムコダイン3T3×1、リスバダール1.5mg3×1、各2日間	11/26湿性咳嗽あり。回診、体温38.2℃・咳頻回・痰(+)・R:30。CRP検査、インフルエンザ検査実施。インフルエンザ(-)、検査結果を受け、急性肺炎と診断。	肺炎に対して効果が期待できるため抗生剤を処方(フロモックス、アスベリン、ホクナリンテープ)。効果が見られないため、11/30、ムコダインを追加処方。改善効果が期待できないため、ユナシン、サワシリンへ変更、安静保持のためリスバダールを処方し経過観察とした。薬剤感受性試験：なし
様	令和02年11月26日	II	7	誤嚥性肺炎	CRP検査(10.92)	投薬	11/26フロモックス3T3×1、ムコダイン3T3×1、アスヘリン3T3×1、各2日間(夕より開始) 11/27継続処方サワシリン7.5g3×1、ユナシン3T3×1、3日間 11/30継続処方サワシリン7.5g3×1、ユナシン3T3×1、3日間	11/26回診にて元気なし・発熱(36.4℃)・痰(2+)黄色粘稠痰 咳(2+)・嚥下不良・肺雑音、CRP検査実施。検査結果等より誤嚥性肺炎と診断。	肺炎に対する効果を期待し、抗生剤(フロモックス、ムコダイン、アスベリン)を処方。しかし、有効と認められないため11/27、サワシリン、ユナシンへ変更、処方を継続していた。薬剤感受性試験：なし
様	令和02年11月24日	II	7	急性肺炎	CRP検査(13.9)	投薬	11/24サワシリン7.5g3×1、ユナシン3T3×1、2日間。カロナール1T1×1、発熱屯用。11/26サワシリン7.5g3×1、ユナシン3T3×1、4日間 11/30サワシリン7.5g3×1、ユナシン3T3×1、4日間	11/24悪寒訴えあり。四肢冷感、顔色口唇色不良。回診時、左、中、下葉湿性ラ音(2+)・KT:39.0℃・P:118、BD:142/65・SPO2:76%・CRP検査実施。検査結果等より急性肺炎と診断。	肺炎に効果が期待できるため、抗生剤(サワシリン、ユナシン)を処方。改善が見られたため11/26以降継続処方とした。薬剤感受性試験：なし
様	令和02年11月30日	II	1	急性肺炎	CRP検査(3.91)	投薬	11/30サワシリン(250)4T4×1、ユナシン3T3×1、ムコダイン3T3×1、各2日間 【12/1 2:15亡。投薬は11/30のみ】	11/30時々湿性咳嗽あり。回診、右下肺湿性ラ音(+)・R:32・SPO2:70%。CRP検査実施。検査結果等より急性肺炎と診断。	肺炎に対し効果を期待し、抗生剤(サワシリン、ユナシン、ムコダイン)を2日間処方とした。薬剤感受性試験：なし
様	令和02年12月10日	II	7	肺炎	診察	投薬	12/10フロモックス3T3×1、4日間 カロナール1T1×1発熱時屯用 12/14フロモックス3T3×1、3日間	12/10淡黄粘稠痰多量に吸引。発熱38℃・黄色痰(2+)咳(-)診察により肺炎と診断。	肺炎に対して効果を期待し、12/10抗生剤(フロモックス)、カロナールを発熱時屯用として処方。改善が見られたため12/14継続処方。薬剤感受性試験：なし
様	令和02年12月08日	II	7	急性肺炎	CRP検査(9.71)	投薬	12/8クラリシット(200)2T2×1、2日間(昼より開始) 12/10クラリシット(200)2T2×1、4日間(14日にて飲み切り中止)	12/8発熱38.2℃・咳(2+)痰(2+)肺ラ音(-)CRP検査実施。検査結果等より急性肺炎と診断。	肺炎に対して効果を期待し、12/8、抗生剤(クラリシット)を処方、改善が見られたため12/10継続処方。薬剤感受性試験：なし
様	令和02年12月07日	II	7	肺炎	診察	投薬	12/7点滴:ソルデム1号500ml、セファメジン1.0g 12/8ホクナリンテープ2mg1×1、クラビット(500)1T1×1、アスヘリン4T4×1、ムコダイン4T4×1、各2日間 12/10ホクナリンテープ2mg1×1、アスヘリン4T4×1、ムコダイン4T4×1、フロモックス4T4×1、各5日間 12/15ホクナリンテープ2mg1×1、クラビット(500)1T1×1、アスヘリン4T4×1、ムコダイン4T4×1、各3日間	12/7体熱感あり。38.3℃。湿性咳嗽あり。左下肺湿性ラ音(+)。状態より急性肺炎と診断。	R2/11/末より微熱、咳、痰ありフロモックス投与。R2/12/1 肺乾性ラ音聴取し、クラビット、ホクナリンに変更。R2/12/6 発熱(38.9℃)、多呼吸(36/分)、左下肺の湿性ラ音聴取、経口摂取不能になり。R2/12/7よりセファメジン静注点滴へ変更。R2/12/9 状態改善し、静注補液中止。以降順調に経過。R2/12/14 投薬中止 薬剤感受性試験：なし
様	令和02年12月25日	II	7	尿路感染症	診察	投薬	12/25クラビット(500)1T1×1、4日間 12/28継続処方クラビット(500)1T1×1、3日間、アスバラK3T3×1、7日間	12/8体熱感経度あり。37.8℃。下腹部緊満。BD114/78、SPO2:94%、P:72.状態より尿路感染症と診断。	尿路感染症に効果を期待し、12/25から12/31までクラビットを継続処方した。12/21採血の結果、カリウム値:3.0のため、12/28よりアスバラKを処方。薬剤感受性試験：なし

様	令和03年01月14日	II	7	誤嚥性肺炎	診察	投薬	1/14フロモックス3T3×1、ムコダイン3T3×1、各4日間(昼より開始) 1/15(継続処方)フロモックス3T3×1、ムコダイン3T3×1、各2日間	1/14回診にて、左下肺湿性ラ音(+)R:27 SPO2:97%。診察にて誤嚥性肺炎と診断。	肺炎に対して効果を期待し、1/14 抗生剤(フロモックス、ムコダイン)を処方、改善が見られたため、1/15継続処方 薬剤感受性試験:なし
様	令和03年01月06日	II	4	急性肺炎	CRP検査(13.2)	投薬	1/6フロモックス3T3×1、ムコダイン3T3×1、各3日間(昼より開始1/9朝まで)	1/5回診発熱(37.9℃)痰(黄色)多呼吸(-)R:20にて、CRP検査実施。急性肺炎と診断し、検査結果1/6にCRP13.2との検査結果を受け、投薬開始。	肺炎に対して効果を期待し、1/6 抗生剤(フロモックス、ムコダイン)を処方。 薬剤感受性試験:なし
様	令和03年01月14日	II	7	尿路感染症	尿検査((URO:normal BLD:+- 0.03mg/dL PRO:2+100mg/dL pH:7.5 LEU:3+500c/uL S.G:1.015)	投薬	1/14フロモックス3T3×1、4日間(タより開始) 1/19フロモックス3T3×1、3日間(昼より開始)	1/14尿混濁軽度(+)管内浮遊物(+)にて尿検査実施。検査結果より尿路感染症と診断。	尿路感染症に効果を期待し、1/14、1/19 抗生剤(フロモックス)を処方 薬剤感受性試験:なし
様	令和03年01月15日	II	7	尿路感染症	CRP検査(6.26)・尿検査((URO:1+2.0mg/dL BLD:2+ 0.15mg/dL PRO:2+100mg/dL pH:8.5 NIT:+ LEU:3+500c/uL S.G:1.015)	投薬	1/15ホスミン(500)3T3×1、4日間 1/19(継続処方)ホスミン(500)3T3×1、3日間	1/14より発熱あり。1/15は38.0℃。血圧73/52。尿検査、CRP検査実施。検査結果を受け、尿路感染症と診断。	尿路感染症に効果を期待し、1/15 抗生剤(ホスミン)を処方、改善が見られたため、1/19継続処方 薬剤感受性試験:なし
様	令和03年01月07日	II	6	尿路感染症	尿検査((URO:normal BLD:2+ 0.15mg/dL PRO:+15mg/dL pH:7.0 LEU:3+500c/uL S.G:1.005)	投薬	1/7ホスミン(500)3T3×1、2日間(昼より開始) 1/8(継続処方)ホスミン(500)3T3×1、3日間	1/7熱(+)KT:36.9℃ R:18 昨日37.2℃ 呼吸速迫 黄色尿混濁(+)にて尿検査実施。検査結果より尿路感染症と診断。	尿路感染症に効果を期待し、1/7 抗生剤(ホスミン)を処方。改善が見られたため、1/8継続処方 薬剤感受性試験:なし
様	令和03年01月12日	II	7	尿路感染症	尿検査(URO:2+ 4.0mg/dL BLD:2+ 0.15mg/dL PRO:2+100mg/dL pH:5.5 NIT:+LEU:3+500c/uL S.G:1.015)	投薬	1/12クラビット(500)1T1×1、2日間 1/13(継続処方)クラビット(500)1T1×1、5日間	1/12回診時、KT:38.7℃、尿混濁、傾眠状態、心雑音(+)にて尿検査実施。検査結果を受け尿路感染症と診断。	尿路感染症に効果を期待し、1/7 抗生剤(クラビット)を処方。改善が見られたため、1/13継続処方 薬剤感受性試験:なし
様	令和03年01月08日	II	7	尿路感染症	尿検査((URO:normal BLD:3+ 0.75mg/dL PRO:1+30mg/dL pH:5.5 NIT:+ LEU:3+500c/uL S.G:1.030)	投薬	1/8ホスミン(500)3T3×1、4日間 カロナール1T1×1 屯用 1/12ホスミン(500)3T3×1、3日間	1/7回診、昨日発熱(38.5℃)本日熱(-)咳(-)。尿路カテーテルのため尿路感染症を疑い尿検査実施。検査結果より尿路感染症と診断。	尿路感染症に対して効果を期待し、1/8、1/12 抗生剤(ホスミン)を処方。発熱時屯用として、カロナールを処方。 薬剤感受性試験:なし
様	令和03年01月20日	II	3	尿路感染症	尿検査((URO:normal BLD:3+ 0.75mg/dL PRO:2+100mg/dL pH:7.5 NIT:+ LEU:3+500c/uL S.G:1.030)	投薬	1/20サワシリン(250)4T4×1、2日間(タより開始)	1/20フォーレレート内濃縮尿、混濁あり。尿検査実施。検査結果より尿路感染症と診断。	尿路感染症に対して効果を期待し、1/20 抗生剤(サワシリン)を処方 薬剤感受性試験:なし
様	令和03年02月02日	II	7	尿路感染症	尿検査((URO:normal BLD:2+ 50c/uL PRO:2+100mg/dL pH:7.5 LEU:3+500c/uL S.G:1.010)	投薬	2/2フロモックス3T3×1、3日間 2/5クラビット(500)1/2T 1×1 4日間	2/2発熱(37.4℃) 回診、四肢冷感、チアノーゼなし。尿検査実施。検査結果、状態より尿路感染症と診断。	尿路感染症に効果を期待し、2/2 抗生剤(フロモックス)を処方した。一旦解熱するも、2/4、再度発熱クラビットへ処方変更した。 薬剤感受性試験:なし
様	令和03年02月08日	II	6	尿路感染症	尿検査(URO:normal pH:8.0 LEU:3+500c/uL S.G:1.010)	投薬	2/8クラビット(500)1T1×1、3日間 2/10継続処方(2/11~)クラビット(500)1T1×1、3日間	2/8フォーレレート内尿流不出く詰まりあり。両下腿、左足背浮腫著明。動かすと痛み訴えあり。尿検査実施。検査結果、状態より尿路感染症と診断。	尿路感染症に効果を期待し、2/8、抗生剤(クラビット)を処方した。効果が期待できるため、2/10継続処方。 薬剤感受性試験:なし
様	令和03年03月16日	II	7	急性肺炎	CRP検査(4.52)	投薬	3/16ユナシン(335)2T2×1、ムコダイン3T3×1、サワシリン(250)3T3×1、各3日間 カロナール1T1×1、屯用 3/17継続処方 ユナシン2T2×1、ムコダイン3T3×1、サワシリン3T3×1、各3日間 カロナール1T1×1、屯用 3/20継続処方 サワシリン(250)3T3×1、ユナシン(375)2T2×1、ムコダイン3T3×1、各4日間	介護職員より体調不良報告。3/16回診、右下肺湿性ラ音(+)心雑音(2+)、CRP検査実施。状態・検査結果より急性肺炎と診断。	肺炎に対して効果を期待し、3/16ユナシン、ムコダイン、サワシリンおよびカロナールを屯用として処方。効果が期待できるため、3/17継続処方。3/20 7継続処方。 薬剤感受性試験:なし
様	令和03年03月01日	II	4	尿路感染症	尿検査((URO:normal BLD:2+ 0.15mg/dL PRO:1+30mg/dL pH:5.0 LEU:3+500c/uL S.G:1.005)	投薬	3/1クラビット(500)1T1×1、2日間 3/2継続処方 クラビット(500)1T1×1、2日間	3/1回診、全身浮腫(+)腰痛(+)尿検査・採血実施。検査結果より尿路感染症と診断。	尿路感染症に効果を期待し、3/1クラビットを処方した。効果が期待できるため、3/2継続処方。 薬剤感受性試験:なし
様	令和03年03月10日	II	7	尿路感染症	尿検査((URO:normal BLD:1+ 0.06mg/dL BIL:1+0.5mg/dL PRO:± 15mg/dL pH:6.5 LEU:3+500c/uL S.G:1.015)	投薬	3/10フロモックス3T3×1、5日間 3/12継続処方 フロモックス3T3×1、2日間	尿路感染繰り返す方にて、定期検査として尿検査実施。検査結果より尿路感染症と診断。	尿路感染症に効果を期待し、3/10フロモックスを処方した。効果が期待できるため、3/12継続処方 薬剤感受性試験:なし

様	令和03年03月17日	II	7	尿路感染症	CRP検査(0.60)・尿検査 (URO:1+2.0mg/dL BLD:3+0.75mg/dl PRO: 2+100mg/dL pH:8.0 LEU:3+500c/uL S. G: 1.020)	投薬	3/17ホスミン(500)2T2×1、4日間 3/20継続処方ホスミン (500)2T2×1、4日間	3/17発熱37.4℃・血尿(+)咳(+)痰(+)肺ラ音(-)にて、尿検査・CRP検査実施。検査結果より尿路感染症と診断。	尿路感染症に効果を期待し、3/17ホスミンを処方した。効果が期待できるため、 3/20継続処方。 薬剤感受性試験:なし
様	令和03年03月10日	II	7	尿路感染症	尿検査(URO:normal BLD:2+ 0.15mg/dl p H:6.5 LEU:3+500c/uL S. G:1.020)	投薬	3/10フロモックス3T3×1、3日間 3/12継続処方 フロモックス 3T3×1、4日間	新規入所にて、尿検査他実施。検査結果より尿路感染症と診断。	尿路感染症に効果を期待し、3/10フロモックスを処方した。効果が期待できるため、 3/12継続処方。 薬剤感受性試験:なし
様	令和03年03月31日	II	6	尿路感染症	尿検査(URO:normal BLD:3+ 0.75mg/dl PR O:2+100mg/dL pH: 8.5 NIT:+ LEU:3+ 500c/uL S. G:1.020)	投薬	3/31ミノマイシン2.0g1×1、3日間 4/2継続処方ミノマイシン (100)1×1、3日間	3/29より血尿(+)同日尿検査。状態、検査結果より尿路感染症 と診断。	尿路感染症に効果を期待し、3/31ミノマイシンを処方した。効果が期待できるため、 4/2継続処方。 薬剤感受性試験:なし
様	令和03年03月31日	II	7	尿路感染症	尿検査(URO:2+4.0mg/ dL BLD:2+ 0.15mg/d L PRO:4+1000mg/dL pH:8.5 NIT:+ LEU:3 +500c/uL S. G:1.030)	投薬	3/31フロモックス3T3×1、3日間 4/2ミノマイシン(100)1T1 ×1、3日間 4/5ミノマイシン(100)1T1×1、3日間	新規入所にて、尿検査他実施。検査結果より尿路感染症と診 断。	尿路感染症に効果を期待し、3/31フロモックスを処方した。4/2ミノマイシンへ変更。 効果が期待できるため、4/5継続処方。 薬剤感受性試験:なし